



農業は、私たちが生きていくうえで欠かせない「食」を支えている大切なものであり「やりがい」や「魅力」にあふれるものでもあります。  
今回の特集では、市内の農業に関する様々な取組と、地元産のおいしい特産品を紹介します。



## 就農したい人、集まれっ！ 東松山市農業塾



### 農業塾とは…

農業を支える新たな担い手を育て、増やすことを目的に開催され、農業の基礎知識や実践技術を学べる教室です。  
「野菜コース」と「梨コース」の2コースがあり、どちらも新規就農につながるよう、東松山市農業公社のベテラン講師と地元農業者がサポートしています。



野菜コース		梨コース
	1年間(4月下旬から)	1～2年間(11月中旬から)
	1か月に、2～4回程度	1か月に、2・3回程度
	10人	若干名
	野菜づくりの実習及び講義	梨の栽培研修
	年間2万円(資材・種苗・肥料代等)	無料(用具等は自己負担)
	毎年2月頃	毎年9月頃
	募集時期	

※募集は、広報紙や市ホームページ等でお知らせしています。申込時に選考があります。

### 農業塾の卒業生に伺いました



きっかわ 吉川さん

#### ★農業塾に参加してみて、いかがでしたか？

広報紙で農業塾のことを知り、令和2年に1年間の野菜コースに参加しました。全くの初心者で入塾したので、とにかく通い続け、経験を積んでいきました。  
農業塾は、農業の基礎から学べる場で、初めの半年は主にナス・ピーマン・トマトなど夏野菜の栽培を教わりました。後半は、自分自身で考えた区画を作るという課題が難しかったのですが、その後に活かせる良い経験になりました。

#### ★今は、どんな活動をしていますか？

私は、現在、化学肥料や農薬を使わずに野菜を栽培しています。労力はかかりますが、昔からの伝承農法なので、ストレス無く、ゆったりとした気持ちでやれています。芽が出てから実ができるまでの成長過程が面白く、育て上げることがとても楽しいです。

## 令和7年度からスタート!! 笑顔いっぱい こども農業塾

小学生を対象に、農業と食の大切さを伝える「こども農業塾」を今年度から新たに始めました。

春・夏コースでは、**田植え、野菜や梨の収穫、稲刈り**を体験しました。現在進行中の秋・冬コースでは、**栗の収穫やサツマイモ掘り**などを実施しています。



栗の収穫、またやりた～い!



当たり前食べていたお米や果物が農家さんのおかげで食べられるのを知った!

食べ物に対する考え方が変わった! 農家さんに感謝したいと思った。

## 輝く農業シニア いくつになっても現役農家

80歳を超えた今も、元気に農業をされている高橋さん(農地利用最適化推進委員で、高坂土地改良区と正代水土里会の理事長)にお話を伺いました。



たかはし 高橋さん

#### ★農業はいつからやっているのですか？

自分は60歳から本格的に農業を始めました。初めは、先祖代々の土地を守りたいという気持ちから始めました。米作りは手間がかかり、特に夏は暑く作業が大変ですが、正代地区は土質が良く、おいしいお米ができるので達成感もひとしおです!

#### ★これからの目標を教えてください。

今年度、地元の農業委員・推進委員と市で取り組んで農地の集積・集約を図り、次の作付けからは農地を約8ヘクタールに拡大する予定です。地元正代の農家同士で営農集団を作り、みんなでワイワイと楽しく農業をやっていききたいですね。

## 「農福連携」の大切さを実感 福祉と農業のつながり

障害のある方などが農業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいを持ち、社会に参加する取組を「農福連携」と言い、障害のある方が農家や農業を支える新たな働き手になっています。

### (株)メガテラフーズの施設長に伺いました

#### ★どんな取組をしていますか？

私たちは、障害のある方が仕事に就くための訓練として農作業を中心に取り組んでいます。栽培期間中無農薬で育てた野菜にこだわり、収穫や販売まで丁寧に行っています。農業は、共同作業できる点が魅力で、各自が自分のペースで進めています。また、農家さんに収穫や収穫後の片付けなどを頼まれて出向くこともあり、とても喜ばれています。

市内野田に事業所(直売所)を開き、近所の方が歓迎してくれ、つながりができたことが一番の喜びであり、励みになっています。今後は、農家さんから技術を教わり、さらにおいしい野菜を作っていきたいですね。



みやこし 施設長 宮腰さん

## 楽しみながら学ぼう! まつやま保育園の食育



まつやま保育園では、毎月19日を「食育の日」として、市内の若手農家が栽培

期間中に化学肥料や農薬を使わずに育てた野菜を利用し給食を提供しています。  
園児たちは、農家さんや栄養士さんにお話を聞いたり、ジャガイモを育てたり、その日のおやつになるトウモロコシの皮むきを体験したりして、食の大切さを学んでいます。





# いま、埼玉県のイチゴが熱い!! 目指せ! イチゴのまち!!



埼玉県オリジナルのイチゴ品種である「あまりん」や「べにたま」などが全国いちご選手権で賞を受賞するなど、いま、埼玉県には空前のイチゴブームが到来しています。

市内でも、令和元年にリニューアルオープンした市農林公園での温室栽培を始めとして、イチゴを生産する農家が増え、新たな特産品となっています。

## 市内のイチゴ農家・直売施設の紹介

### 摘み取り・直売施設

#### 東松山市農林公園

場 大谷4212-1 ☎39-0150

**品種** あまりん・べにたま・紅ほっぺ等

**紹介** 施設内のカフェで園内イチゴを使ったデザート販売しています。

**購入** ・摘み取り体験(予約優先)  
・園での直売



市農林公園HP



### 生産者・直売施設

#### 真心農園(株)バイル・エフ

場 上唐子41-1 ☎77-3479

**品種** とちおとめ・あまりん・べにたま  
**紹介** 市の認定農業者である農業法人が運営し、栽培等を行っています。

**購入** ・インターネットショップ  
・園での直売(事前に電話予約が必要)  
★いなほてらす



真心農園HP



### 生産者・直売施設

#### SOLfarm

場 松山1642-2

☎080-7196-1115

**品種** あまりん・べにたま・かおりん等

**紹介** 市農林公園で研修を受け、令和5年に新規就農して、イチゴ園を開業しました。

**購入** ・園での直売(事前に電話予約が必要)  
★いなほてらす



SOLfarm Instagram



### 生産者

#### 高橋さん

**品種** あまりん、ほしうらら、よつぼし等

**紹介** 吉見町の農家で研修を受け、令和5年から市内でイチゴを生産しています。

**購入** ★いなほてらす



### 生産者・直売施設

#### いちごハウスP'Fu

場 石橋2028-1

**品種** あまりん・べにたま・やよいひめ等

**紹介** 市農林公園で研修を受け、令和7年に開業した新しいイチゴ園です。

**購入** ・園での直売(直売日はInstagramで確認)  
★いなほてらす



いちごハウスP'Fu Instagram



ふた更田さん

## 新たに就農した、イチゴ農家さんに伺いました

### ★就農のきっかけは?

前職でタイに赴任していた際、現地の方々の明るく楽しい生き方に触れて、私も今までとは違う新たな挑戦をしてみたいと思うようになりました。

自分で考えたことをすぐに実行し結果を得られる農業に興味を持ち、元々イチゴが好きだったこともあり新規就農を決意しました。

ちなみにP'Fuはタイでの私のニックネームです。

### ★イチゴ農家になるまで、そしてこれからの目標について教えてください。

私は市農林公園で研修を受けました。この研修では、イチゴの栽培方法だけでなく販売方法等も教わるのができ、農家の土台となる貴重な学びの場でした。

今後は今の農園の規模を維持しながら、作業の効率化を図り、品質と収量を向上させていきたいです。ゆくゆくは苗づくりからトータルでイチゴを育ててみたいです。

# 市内には、おいしい特産品や農産物がいっぱい!!

## ハニーホワイト



市の特産品として注目を集めている「ハニーホワイト」。白くて美しい見た目と、ほかのトウモロコシに比べ**糖度が高く豊かな甘み**があり、人気を集めています。

ハニーホワイトは**朝採れ**にこだわっています。トウモロコシは朝日が昇る直前が一番甘いので、生産者は早朝から畑に行き、その日に出荷するトウモロコシを収穫しています。

ハニーホワイトは、市内生産団体「**東松山市戦略作物研究会**」が中心になって生産しています。いなほてらすでも人気で、昨年6月に市役所で開催された**ひがしまつやマルシェ**でも大好評でした! 今年の夏、ぜひご賞味ください♪

### 販売時期

6月中旬～7月中旬頃



市HP

## 栗



昭和40年に、唐子栗組合が設立され、唐子地区を中心に栗が栽培されてきました。

平成25年には、下唐子地内に**約3ヘクタールのぼろたん農園**を開園し「ぼろたん」が栽培されています。

ぼろたんは、大きくて甘だけでなく、鬼皮(硬皮)と一緒に中の渋皮(薄い皮)が**ポロンとむける**ので、食べやすく人気の高い品種です。

**茹でても、焼いても、加工してもおいしい秋の味覚**の代表をぜひ手に取ってみてください。

**販売時期** 9月中旬～10月下旬頃



## 加工品もお勧めです

イチゴ、梨、栗など市内の特産品で作ったおいしい商品がたくさん! ぜひ一度、ご賞味ください。



市HP

## 梨



市の代表的な果物と言えば「梨」。県内でも有数の栽培面積を誇ります。

市内での梨栽培は、明治時代に東平地区で始まったと言われ、東平梨組合では10軒を超える梨農家がおいしい梨を栽培しています。



**幸水、豊水、新高、南水、彩玉、あきづき**など種類も豊富で、様々な味や大きさが楽しめます。

特に埼玉県のオリジナル品種「**彩玉**」は、大玉で糖度が高く、全国梨選手権で多くの賞を受賞し、人気です。市内でも生産されていますので、ぜひ味わってください。

### 販売時期

7月下旬～9月下旬頃(品種によって時期が異なります)



市HP

## 特産品・農産物を購入できる

## 農産物直売所「いなほてらす」

市内には、今回紹介した特産品以外にも素晴らしい農産物がたくさんあります。JA埼玉中央が運営する農産物直売所「いなほてらす」では、地元で採れた新鮮な野菜や果物、お米や加工品などが豊富にそろっていますので、ぜひお立ち寄りください。

場 下青鳥714-1 ☎24-3157

**営業時間** 午前9時30分～午後4時

**定休日** 毎月第2木曜日



いなほてらすHP

今回の特集では、農業の取組や特産品を中心に紹介しました。市内にはおいしい野菜やお米のほかに、加工品などがたくさんあります。おいしく食べて、楽しく農業を盛り上げていきましょう。みんなでenjoy農業♪

市では、新たに農業を始めたい方の就農相談を受け付けています。詳細は、農政課へ。

特集に関する問合せ 農政課 ☎21-1400 FAX 23-7700